

# 取扱説明書・Windows®95 編

## アライドテレス(株)

この度は、「CentreCOM LA100-PCM-T V2」アダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルは、本製品をWindows 95のもとで正しくご利用いただくための手引きです。必要に応じていつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

### 1 概要

#### 1.1 特長

CentreCOM LA100-PCM-T V2(以下、本製品と表記)は以下の特長をもつPCカード型LANアダプターです。

- PCMCIA Release 2.1 およびJEIDA Ver.4.2 規格に対応
- データ転送はI/O方式を採用
- I/Oアドレス、インタラプトの設定が可能
- 10M bps(10BASE-T)/100M bps(100BASE-TX)の2つの速度に対応
- 動作状態表示LED付き接続メディアモジュールが付属(RJ-45型10BASE-T/100BASE-TX共用ジャックを提供)
- Auto-negotiation機能を搭載
- 半2重および全2重通信に対応(ただし、100Mbpsの場合は半2重のみに対応)

#### 1.2 対応コンピュータ機種

本製品は、PCMCIA Type II PCカードスロットを持つ以下のコンピュータ機種に対応しています。

- AT互換機およびNEC PC98-NX
- NEC PC-9800/PC-9821シリーズ(ただし、PC-9801NX/C、PC-9801NL/R、PC-9801NS/A、PC-9821Neを除く)

#### 1.3 対応OS

本製品は、以下のオペレーティングシステム(以下OSと表記)で動作します。

- Windows 95

#### 1.4 各部の名称と働き

図1.4.1をもとに本製品の主要な部分の名称と働きを説明します。

- LA100-PCM-T V2本体**  
コンピュータのPCカードスロットに挿入し、LANアダプターの機能を提供します。
- メディアモジュール接続コネクタ**  
「メディアモジュール」を接続します。
- 本体接続コネクタ**  
LA100-PCM-T V2本体に接続するコネクタです。

**脱着ツメ**  
メディアモジュールの脱着を行うためのツメです。メディアモジュールの脱着は、必ずこのツメを持って行ってください。

**フェライトコア**  
電磁妨害を防ぐための部品です。取り付けたままご使用ください。

**メディアモジュール**  
LA100-PCM-T V2をLANに接続するためのケーブルです。

**LED**  
次の3つのLEDがあります。  
POWER(TX 緑): LA100-PCM-T V2本体に電源が入っているときに点灯し、送信時に点滅します。  
LINK/RX(緑): 対向機器と正常にリンクが確立されると点灯し、受信時に点滅します。  
100M/FULL: 10Mbps・半2重のとき点灯、10Mbps・全2重のとき緑色に点灯、100Mbps・半2重のとき黄色に点灯します。

**RJ-45モジュラージャック**  
UTPケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)を接続するコネクタです。

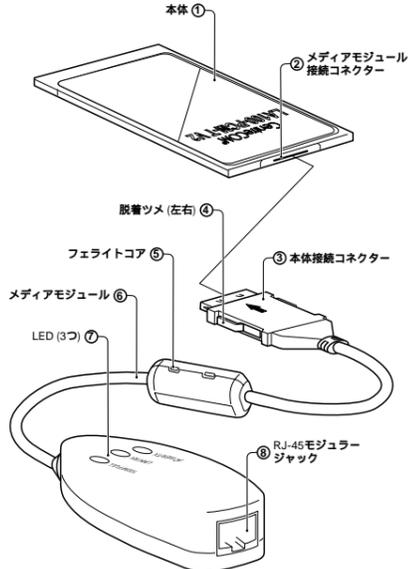


図1.4.1  
**MACアドレス**  
本製品のMACアドレスが記載されています。MACアドレスについては、付録A「MACアドレス」をご覧ください。

**警告ラベル**  
本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。必ずお読みください。

**シリアル番号ラベル**  
本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されています。同じものが、3枚同梱されており、パッケージ(外箱)にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベルは、「お客様インフォメーション登録カード」と「永久保証書」に貼付していただき(残る1枚は予備です)。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

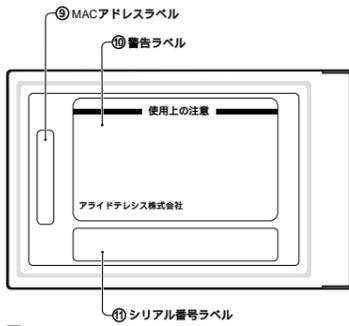


図1.4.2

### 1.5 ドライバーディスク

本製品には、下記の2種類のドライバーディスクが付属しています。ご使用のコンピュータ機種に合わせてご使用ください。

- AT互換機/NEC PC98-NX用
- NEC PC-9800/PC-9821用

Windows95用ドライバーは、「¥windows.95」ディレクトリに置かれています。また、必ずドライバーディスクに含まれる「README.\*」ファイルをお読みください。「README.\*」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報が書かれています。

¥README.1ST(Read me first.)ファイルには、ドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に関わる情報が記載されています。各ディレクトリの中には、それぞれのドライバーに関連するREADMEファイルが存在します。

## 2 取付・配線

### 2.1 活線挿抜1 - PCカードの挿入

Windows95は、活線挿抜をサポートしているため、コンピュータに電源を入れた状態で本製品をPCカードスロットに挿入することができます。

- (1) 「LA100-PCM-T V2」の文字が印刷された面を上にしてコンピュータのPCカードスロットに挿入し、本製品をカチッと手応えがあるまで押し込んでください。

**警告**  
コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違えて装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PCカード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (2) 本製品をPCカードスロットに挿入すると、Windows95はPlug & Play機能により本製品を検出します。

- (3) 「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」を表示させると「コントロールパネル」「PCカード(PCMCIA)」、「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」の名前が表示されます。



図2.1.1 ソケットの状態

**?**  
初めて本製品を挿入したとき、すなわち本製品用のドライバーのインストールが行われていない場合、PCカードウィザードの起動、またはドライバーのインストールが開始されます。詳細は、後述の章をご覧ください。

### 2.2 活線挿抜2 - PCカードの取り外し

Windows95は、活線挿抜をサポートしているため、コンピュータに電源を入れた状態で本製品をPCカードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源が入っている状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。

**警告**  
以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows95ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- (1) ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えばTelnetやデータベースアプリケーションなどを全て終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、全て切断してください。
- (2) タスクバーのPCカードアイコン(デスクトップ右下)をクリックします。



図2.2.1 PCカードアイコン

- (3) 「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」の中止バーが表示されたらバーをクリックしてください。

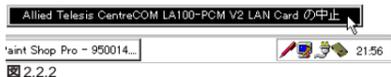


図2.2.2

- (4) 「OK」をクリックしてください。



図2.2.3

- (5) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押してください。本製品は、PCカードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

**警告**  
メディアモジュールを引っ張ってPCカードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品、メディアモジュールの故障の原因となります。

### 2.3 メディアモジュールの取付け

下図のように、矢印を上にし、コネクターの左右にある脱着ツメを押さえながら、LA100-PCM-T V2本体のコネクタに「カチッ」と音がするまで押しこんでください。押し込んだらメディアモジュールを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してください。

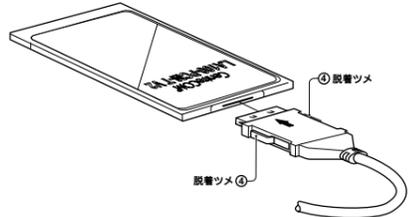


図2.3.1

### 2.4 メディアモジュールの取り外し

メディアモジュールの脱着ツメを親指と人差し指でつまみながら引いてください。

**警告**  
メディアモジュールに無理な力をかけて引き抜くことは、絶対におやめください。PCカード、メディアモジュール双方が破損する恐れがあります。

### 2.5 LANへの接続

**感電**  
稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

- (1) UTPケーブルの一方の端に付いたプラグを、メディアモジュールのRJ-45モジュラージャックにカチッと音がするまで差し込んでください。両端のプラグのどちらを差し込んでもかまいません。

**注意**  
UTPケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)は、10BASE-Tの場合はカテゴリ3以上、100BASE-TXの場合はカテゴリ5のもので、ストレートタイプをご使用ください。

- (2) UTPケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。

- (3) UTPケーブルのもう一方の端のプラグをハブ(またはスイッチ)のモジュラージャックに差し込んでください。手順は、上記(1)(2)と同様です。

UTPケーブルの外し方  
プラグの爪を指で押えながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。

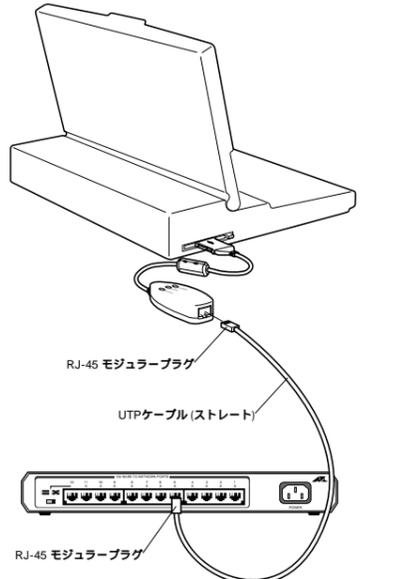


図2.5.1

## 使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。

**警告**  
**分解禁止**  
本製品のカバーを外したり分解したりしないでください。感電や故障の原因となります。また、メディアケーブルも分解しないでください。

**感電**  
**稲妻危険**  
稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

**警告**  
**静電気注意**  
本製品・ケーブルは、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分などに素手で触れないでください。

**注意**  
**取り付け及び取り外し時の注意**  
コンピュータのPCカードスロットに本製品を取り付ける作業は、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。

**警告**  
**取り扱いには丁寧に**  
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

**警告**  
**次のような場所での使用や保管はしないでください**  
・直射日光の当たる場所  
・暖房器具の近くなどの高温になる場所  
・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)  
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所  
・振動の激しい場所  
・ほこりの多い場所や、ジュタンを敷いた場所(静電気障害の原因にもなります)  
・腐食性ガスの発生する場所  
・スピーカ付近などの強磁界

**警告**  
**動作温度と湿度**  
本製品は温度0 ~ 55、湿度最大95%(ただし、結露なきこと)の範囲内でご使用ください。

**警告**  
**異物を入れないでください**  
本製品の隙間から金属、液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。

**警告**  
**長期保管時は袋に入れて**  
本製品を長期にわたって保管する場合は、コンピュータのPCカードスロットに入れたままにしないで必ず袋に入れてください。

**警告**  
**日常のお手入れ**  
本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。

**警告**  
**お子様の手の届かないところに保管してください**

**高温注意**  
本製品は内部に多くの部品を集積しており、使用中に高温を発生するようになります。ご使用後はかなり高温になっておりますので、ご注意ください。火傷の恐れがあります。

**警告**  
**運搬時の注意**  
本製品をコンピュータのPCカードスロットに装着したままにコンピュータを運搬するときは必ず付属のケーブルを外してください。

**警告**  
**濡れたカードは使用しない**  
カードが万が一濡れた場合はショートによる感電・火災を防ぐため、絶対に使用しないでください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

### 3.2 PCMCIA コントローラの有効化

ドライバーをインストールする前に、以下の手順を実行してください。この手続きにより、Windows95がPCカードを自動認識するための機能が有効化されます。

この手順はPCカードを初めて使用する際に1回だけ実行します。本製品を使用するたびに実行する必要はありません。

- (1) コンピュータに電源を投入し、Windows95を起動します。この時点では、まだ本製品をPCカードスロットに取り付けずにください。
- (2) 「スタート」をクリックし、「設定(S)」から「コントロールパネル(C)」を選択します。



図 3.2.1 コントロールパネルの選択(デスクトップ)

- (3) 「PCカード(PCMCIA)」アイコンをダブルクリックします。



図 3.2.2 「PCカード(PCMCIA)」アイコン

- (4) 「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します。「PCカード(PCMCIA)ウィザード」は、2つの質問を続けて行います。通常は、2つの質問のそれぞれに対して「いいえ(N)」を選択し、「次へ>」をクリックしてください。



図 3.2.3

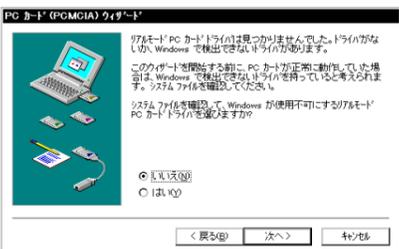


図 3.2.4

以前にこの手順を実行したことがあればこのパネルは表示されず、「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」が表示されます(図 3.5.6 参照)。また、プリインストール版 Windows95 をご使用の場合も、同様に「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」が表示されることがあります。この場合は「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」を閉じ、「3.3 Windows95 のバージョン確認」に進んでください。

- (5) 「PCカードウィザード」が終了すると、次のダイアログが表示されますので、「完了」をクリックしてください。



図 3.2.5 PCカード(PCMCIA)ウィザードの完了

Windows3.1の環境からWindows95にアップグレードしたコンピュータの場合は、この作業によって CONFIG.SYS に記述された既存の16ビットカードサービス、ソケットサービスはコメントアウトされます。

- (6) 次のダイアログが表示されますので、「はい(Y)」をクリックしてください。Windows95が終了したら、コンピュータの電源を切ります。



図 3.2.6 「システム設定の変更」ダイアログ

- (7) 以上でPCカードを使用する準備は整いました。引き続き、「3.3 Windows95 のバージョン確認」へお進みください。

### 3.3 Windows95 のバージョン確認

Windows95には、Version950、VersionA、VersionB、VersionCの4種類のバージョンがあります。各バージョンによって、本製品のドライバー-インストール時に表示されるメッセージが異なります。まず、ご使用のWindows95のバージョンを確認し、「3.4 ドライバーのインストール」に進んでください。

- (1) コンピュータの電源をオンにし、Windows 95を起動してください。
- (2) 「スタート」「設定」「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックしてください(図 3.2.1 ~ 2)。

- (3) 「システムのプロパティ」ダイアログが現れます。「情報」タブをクリックしてください。

Version950

「システム:」の番号が「4.00.950」であれば Version950です。



図 3.4.1

VersionA

「システム:」の番号が「4.00.950a」であれば VersionAです。



図 3.4.2

VersionB、VersionC

「システム:」の番号が「4.00.950 B」であれば VersionB、「4.00.950 C」であれば VersionC です。



図 3.4.3

### 3.4 ドライバーのインストール

- (1) コンピュータに電源をいれたままで、PCカードスロットに本製品を挿入してください。
- (2) Windows95は本製品を自動的に検出しますが、Windows95のバージョンによって表示されるダイアログが異なります。

Version950またはVersionAの場合

Windows95は、「新しいハードウェア」ダイアログに「Allied Telesis, K.K.-CentreCOM LA100-PCM-T V2 100/10M LAN PC Card」の名前を表示します。「ハードウェアの製造元」が提供するドライバ(M)を選択し、「OK」をクリックしてください。



図 3.4.1

VersionBまたはVersionCの場合

Windows95は、「デバイスドライバウィザード」を起動します。本製品のドライバーディスクをフロッピードライブに挿入し、「次へ>」をクリックしてください。この時点でドライバーディスクをフロッピードライブに入れておくことが重要です。



図 3.4.2

- (3) Version950またはVersionAの場合は、「フロッピーディスクからインストール」が表示されます。フロッピーディスクドライブにドライバーディスクを入れ「A:\windows.95」と入力して、「OK」をクリックします。ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。

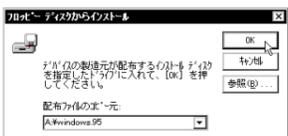


図 3.4.3

VersionBまたはVersionCの場合は、(2)の時点でドライバーディスクをフロッピードライブに入れて置くことによって、適切なドライバーが自動検索されます。次のダイアログが表示されたら「完了」をクリックしてください。



図 3.4.4

自動検索を行わず「場所の指定」ボタンをクリックして、ディレクトリを直接指定することもできます。その場合は、「A:\windows.95」を指定してください。

- (4) ご使用のコンピュータに初めてネットワークアダプターをインストールする場合は次のダイアログが表示されます。内容を読んだ上で「OK」をクリックしてください。このダイアログが表示されない場合は、(6)に進んでください。

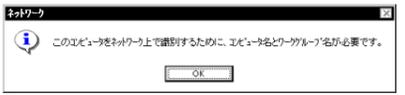


図 3.4.5

- (5) 続いて次のダイアログが表示されます。ネットワーク管理者に確認の上、コンピュータ名、ワークグループ名およびコンピュータの説明(省略可)を入力してください。



図 3.4.6

コンピュータ名およびワークグループ名の入力には15字以下の半角文字を使用します。詳細はWindows95のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。また、このダイアログの内容をインストール後に変更する場合は、「コントロールパネル」「ネットワーク」を起動し、「ユーザー情報」タブを選択してください。

- (6) ドライバーおよび必要なWindows95のファイルがハードディスクにコピーされます。コピーの途中でWindows95の供給ディスクが要求される場合は、ご使用のWindows95の形態に応じて以下のようにパスを入力してください。

プリインストール版 Windows95 の場合

この場合はWindows95ファイルが既にハードディスクにコピーされています。ダイアログではディスクを入れるように要求されますが、そのまま「OK」をクリックしてダイアログを閉じ、「C:\windows\options\cabs」を指定してください。ここではWindows95の起動ディスクパーティションをC:と仮定します。

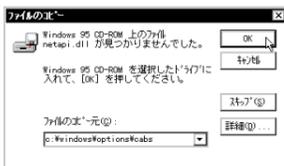


図 3.4.7 ファイルの所在の指定(プリインストール版)

CD-ROM の場合

CD-ROMをドライブに挿入し、「D:\WIN95」を入力してください。ここでは、CD-ROM ドライブをD:と仮定します。

フロッピーディスクの場合

現在挿入されているドライバーディスクを取り出し、指示された番号のディスクをフロッピーディスクドライブに入れて、「ファイルのコピー元(C)」で「A:\windows.95」を入力してください。(ここではフロッピーディスクドライブをA:と仮定します。)



図 3.4.8 フロッピーディスクの要求画面

- (7) **重要** 「LAHPCMV2.SYSが見つからないのでWindows 95のCD-ROMやフロッピーディスクを入れてください」というようなダイアログが表示される場合は、ドライバーディスクをフロッピードライブに入れ、ディレクトリとして「A:\windows.95」を入力してください。「LAHPCMV2.SYS」はドライバーディスクに収められているファイルです。ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。

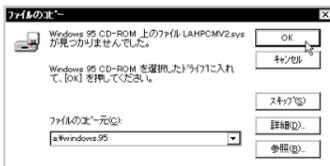


図 3.4.9 LAHPCMV2.SYSの要求例)

- (8) 「システム設定の変更」が表示されます。「今すぐ再起動しますか?」という問いに対して、「はい(Y)」をクリックし、フロッピーディスクを取り出して、コンピュータを再起動します。

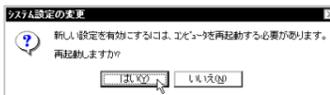


図 3.4.10 システム設定の変更

- (9) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「3.5 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

### 3.5 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

#### 1. デバイスマネージャによるインストールの確認

- (1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われている場合は「PCMCIA ソケット」の下にご使用のコンピュータにインストールされているPCMCIAコントローラの名前が、「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」が表示されます。



図 3.5.1

PCMCIAコントローラの名前は、ご使用のコンピュータ機種により異なります。上記のダイアログは一例です。また、ご使用のコンピュータがCardBus対応モデルであり、かつPCMCIAコントローラが16bit/32bit共用のタイプである場合、PCMCIAコ



注意

ントローラは同じ名称が2列以上表示されます。

本製品のアイコンに「x」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「4 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

- (2) 「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」を選択(反転表示)し、「プロパティ」「情報」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



図 3.5.2 デバイスの状態 (Version 950/A)



図 3.5.3 デバイスの状態 (Version B)

- (3) VersionBまたはCの場合、「ドライバ」タブが存在します。「ドライバ」タブを選択すると、「このデバイスにはドライバファイルが必要でないか、または組み込まれていません。」というメッセージが表示されることがありますが、これは本製品の仕様によるものであり、ご使用には支障ありません。安心して使用ください。



図 3.5.4 「ドライバ」タブ

- (4) 本製品が使用するI/Oベースアドレス、インタラプト(IRQ)などは、Windows95によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。



図 3.5.5 リソースの確認

#### 2. PCカード(PCMCIA)による確認

「PCカード(PCMCIA) (コントロールパネル)」をダブルクリックします。「ソケットの状態」を表示すると該当するソケットに「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」が表示されていることを確認します。



図 3.5.6 ソケットの状態

#### 3. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。詳細はシステム管理者にご確認ください。



図 3.5.7 ネットワークの設定

### 3.6 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にならない、間違っインストールされたドライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



図 3.6.1 ドライバーの削除

- (2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



図 3.6.2 デバイス削除の確認

- (3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えていることをご確認ください。



図 3.6.3 削除後のデバイスマネージャ

- (4) 「システムのプロパティ」の「閉じる」ボタンをクリックしてください。

- (5) タスクバー(画面右下)のPCカードアイコンをダブルクリックします。



図 3.6.4 PCカードアイコン

「ソケットの状態」タブが表示されます。本製品が挿入されていたソケットの表記が「-」となっていることを確認してください(画面では「- ソケット1」)。



図 3.6.5 デバイス削除後の「ソケットの状態」

- (6) 該当するソケット(画面では「ソケット1」)を選択(反転表示)させると「終了」ボタンがアクティブになりますので、クリックします。



図 3.6.6 デバイス削除後の「ソケットの状態」(2)

- (7) 次のダイアログが表示されます。「OK」をクリックします。

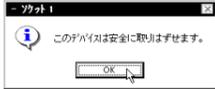


図 3.6.7

- (8) PC カードスロットから本製品を抜きます。

- (9) 「ソケットの状態」で、「空」と表記されていることを確認してください。



図 3.6.8

- (10) タスクバー上でPCカードアイコンが消えていることもご確認ください。



図 3.6.9 タスクバー

- (11) 以上で削除の手続きは終了です。コンピュータの電源をオフにしてください。

### 3.7 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「3.6 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。

- (2) 「3.4 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

## 4 ドライバーのトラブル

ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。



注意

#### 4.1 本製品を認識しない

「3.4 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」アイコンの表示が以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。

- 1 正常にインストールできない
- 2 PCカードが検出されない
- 3 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 4 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下にはいつてしまった
- 5 デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く
- 6 「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」が2つ以上ある

上記の「3」や「4」のような障害は、以下のような操作を行ったことが考えられます。

- ドライバーインストールの作業中に行われるnetapi.dllなどのWindows95関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまった。
- Version 950またはAにおいて、以前に本製品のドライバーのインストールと削除を行ったことがあり、「3.4 再インストール」手順(2)の「新しいハードウェア」ダイアログで「ドライバをインストールしない(D)」を選択した。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。

- (2) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての設定から削除(A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。

- (3) 「3.6 ドライバーの削除」の手順(3)に進みます。

#### 4.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く

デバイスマネージャの「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」アイコンに「x」マークがある場合は、「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」を選択(反転表示)し、「プロパティ」をクリックし、「情報」タブを表示します(図 3.5.2 ~ 3)。

- (2) Version 950またはAの場合、「Original Configuration」にチェックを付けてください。

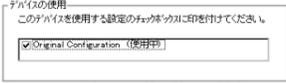


図 4.2.1 デバイスの使用許可の設定

- (2) Version BまたはCの場合、「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックを外し、「すべてのハードウェア環境で使用する」にチェックを付けてください。

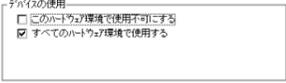


図 4.2.2

#### 4.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIA コントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。



警告



注意



注意

ご使用のコンピュータのPCMCIA コントローラ専用ドライバーが、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されている手順でPCMCIA コントローラの再インストールを行ってください。

ソケットサービス/カードサービスに関連するデバイスの一部、例えばPCMCIA Card Servicesのように常に「?」マークがつくが、正常に動作しているものもあります。以下の手順を実行する場合は、十分にご注意ください。

- 「3.4 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「PCMCIA ソケット」の下に表示されるPCMCIA コントローラのアイコンに「?」「!」のマークが付いている場合は、次の手順を実行してみてください。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。

- (2) 「PCMCIA ソケット」の下にあるPCMCIA コントローラを選択し、「削除(E)」をクリックしてください。

- (3) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての設定から削除(A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。

- (4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。

- (5) Windows95を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、本製品をPC カードスロットから取り外します。

- (6) 再びコンピュータに電源を投入します。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PCカード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。

- (7) 「ハードウェア」アイコン(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。「ハードウェアウィザード」が起動します。「次へ」をクリックしてください。('ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります。)

- (8) 「はい(通常はこちらを選んでください)(Y)」を選択し、続く2つの質問に対して「次へ」をクリックして進みます。最後に「完了」をクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。

- (9) 続いて、「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します。「3.2 PCMCIA コントローラの有効化」の手順(4)から実行してください。

#### 4.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Playに対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値をWindows95に予め登録(予約)と呼びます)し、その値が他のPlug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないようにしておく、値の重複を回避できます。

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト(IRQ)、I/Oベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。

- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。

- (3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

#### 4.5 その他

インストール時に、以下のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN環境でTCP/IPをご使用になっている場合は、DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。



図 4.5.1

## 5 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

#### 1 LINK LED は点灯していますか?

LINK LEDは、ハブ(またはスイッチ)と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LEDは、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方のLINK LEDが点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方も点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブに電源が入っているか確認してください。
- UTP ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。

- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート(カスケードポート)を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続している場合、カスケードポートを「MDI-X」や「to pc」に設定しなければなりません(通常のハブのポートとして設定する)。

- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

- ハブの通信速度、カードの通信速度を確認してください。次の「3 本製品のポートの設定」もご覧ください。

#### 2 LINK LED は点灯しているが...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTPケーブルの長さは正しいですか? ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長100mと規定されています。

- 正しいUTPケーブルを使用していますか? 100BASE-TXをご使用の場合、UTPケーブルは「カテゴリ-5」のものでなければなりません。10BASE-Tの場合は、「カテゴリ-3」以上のものが使用できます。また、ケーブルの不良は外観から判断しにくいので、他のケーブルに交換して試してみてください。

#### 3 本製品のポートの設定

本製品のポート(RJ-45モジュラージャック)は、「AutoSense」に設定されており、接続機器との通信速度(10/100Mbps)やモード(Full/Half duplex)は、本製品のAuto-negotiation機能によって自動的に設定されます。しかしながら、Auto-negotiationをサポートしていない機器に接続した場合、Auto-negotiation機能が正しく働かないため、ご使用になりたい状況に合わせて以下のように設

定してください。

「コントロールパネル」「ネットワーク」「LA100-PCM V2」とたり、「プロパティ」をクリックしてください。本製品の設定ダイアログが表示されます。「詳細設定」タブの「プロパティ」で「Connection Type」を選択し、「値」から適切な項目を選択してください。



図 5.1

- AutoSense(デフォルト) Auto-negotiationを有効に設定します。この項目を選択した場合、対向装置がAuto-negotiationをサポートしていれば、可能な最高の速度およびモードとなります。しかしながら、対向装置がAuto-negotiationをサポートしていない場合、通信速度のみを検出し、検出された速度のHalf duplexモードとなります。

- 100BaseTx 100MbpsのHalf duplex(半二重)モードに設定します。

- 10BaseT 10MbpsのHalf duplex(半二重)に設定します。

- 10BaseT Full\_Duplex 10MbpsのFull duplex(全二重)に設定します。

## A 付録

### A.1 製品仕様

- ハードウェア仕様  
カード規格:  
PCMCIA Release 2.1/JEIDA Ver. 4.2  
信号:  
IEEE802.3 10BASE-T, IEEE802.3u 100BASE-TX, IEEE802.3u Auto-negotiation

- 機械的仕様  
外形:  
カード: 85.6 x 54.0 x 5.0 mm (Type II PC Card)  
メディアモジュール: 220 x 26 x 21 mm  
重量:  
カード: 30 g  
メディアモジュール: 25 g

- 電気的仕様  
動作電圧: DC + 5V ± 5 %  
消費電流: 400 mA (max)  
消費電力: 2.0 W (max)  
発熱量: 1.66 Kcal/h (max)

- 環境条件  
動作保証温度: 0 ~ 55 注1  
保存温度: -20 ~ 80  
動作・保存湿度: 95%以下(ただし、結露なきこと)

注1 本製品(PCカード)の周囲温度であり、コンピュータの周囲温度ではありません。

- 電気雑音の発生防止  
雑音端子電圧: VCCIクラスB  
雑音電界強度: VCCIクラスB

- ネットワーク機能  
転送速度: 10M/100M bps  
I/Oアドレス:  
200, 220, 240, 260, 280, 2a0, 2c0, 2e0, 300, 320, 340, 360, 380, 3a0, 3c0  
インタラプト:  
3, 4, 5, 6, 7, 9, 10(A), 11(B), 12(C), 15(F)

### A.2 100/10BASE-T インターフェース

本製品に付属のメディアモジュールは、RJ-45型と呼ばれるモジュラージャックを使用しています。図A.2.1に、100/10BASE-Tモジュラージャックの信号線を図示します。

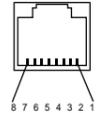


図 A.2.1 RJ-45 モジュラージャック

- |         |          |
|---------|----------|
| (1) TX+ | 送信データ(+) |
| (2) TX- | 送信データ(-) |
| (3) RX+ | 受信データ(+) |
| (4) --- | 未使用      |
| (5) --- | 未使用      |
| (6) RX- | 受信データ(-) |
| (7) --- | 未使用      |
| (8) --- | 未使用      |

### A.3 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MACアドレス<sup>注2</sup>と呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MACアドレスは機器(アダプター)のひとつひとつに割り当てられた唯一無二のunique、ユニークなアドレスです。

MACアドレスは、下記の6バイト(48ビット)によって構成されており、本アダプターの内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品のMACアドレスは、製品裏面に貼付されているMACアドレスラベルに記入されています(表記は全て16進数)。

00 00 F4 9x xx xx  
ベンダーID 通し番号

- ベンダー ID LANベンダー(LAN用機器を製造しているメーカー)がIEEEに申請することにより得られる識別番号。

- 通し番号 この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、LA100-PCM-T V2は、96から始まる6桁の数値となっています。この通し番号と本製品裏面の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。

<span>注2</span> <p>MACアドレス(マックアドレスと読みます)は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MACアドレスは、TCP/IPの環境で使用されるIPアドレスに関係がありますが、これらは別べつのもです。</p>
--

## B 保証

本製品に添付されている「永久保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けられません。

## C ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファクスしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。ファクスによって詳細な情報を送付していただく方が、電話による問い合わせよりも速かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細については、「C.1 調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。なお、都合によりご連絡の遅れることもございますので、予めご了承ください。

<b>アライドテレスイス株式会社</b> <b>サポートセンター</b>
Fax: 0120-860-662 年中無休 24 時間受付
Tel: 0120-860-772 月～金(祝・祭日を除く) 10:00-12:00、13:00-17:00

### C.1 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

<b>ハードウェアとソフトウェア</b>
----------------------

- ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン

本製品裏面に貼られたラベルに記入されているシリアル番号(S/N)、製品レビジョンコード(Rev.)を調査依頼書に記入してください。

(例)	 S/N 00077000002346 Rev AA
-----	---

## 調査依頼書( CentreCOM LA100-PCM-T V2 1/2 ) 年 月 日

### 一般事項

- 御社名： \_\_\_\_\_  
部署名： \_\_\_\_\_ ご担当者： \_\_\_\_\_  
ご連絡先住所： 〒 \_\_\_\_\_  
TEL: ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ FAX: ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_
- 購入先： \_\_\_\_\_  
購入先担当者： \_\_\_\_\_ 連絡先(TEL) ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

### ハードウェアとソフトウェア

- ご使用カードのシリアル番号、製品リビジョン

LA100PCM-T V2	 S/N _____ Rev _____
---------------	---

- ご使用の当社のソフトウェア

LA-PCM-T V2 ドライバー	Ver.	pl.	
CentreNET PC/TCP	Ver.	pl.	S/N
CentreNET AT-TCP/32	Ver.	pl.	S/N
その他( _____ )	Ver.	pl.	S/N
その他( _____ )	Ver.	pl.	S/N

- ご使用のコンピュータについて

メーカー名： _____	機種名： _____
OS: _____	バージョン： _____
	サービスパック(NT): _____

- ご使用の周辺機器について

CD-ROM ドライブ： _____
サウンドボード： _____
SCSI ボード： _____
その他： _____

- ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

- トラブルの発生時期

セットアップ中に起こっている障害
セットアップ後、運用中に起こっている障害

- システムレポート

添付あり
添付なし

- ご使用の当社のソフトウェア

当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフトウェアの種類、バージョン(Ver.) シリアル番号(S/N)を記入してください。それらは、フロッピーディスクのラベル上に記入されています。
- ご使用のコンピュータの機種

ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名をご記入ください。
- ご使用の周辺機器

CD-ROM ドライブ、サウンドボード、SCSI ボードなどの他社製拡張アダプターや、メモリアマネージャなどのユーティリティをご使用の場合はそれら全てについてご記入ください。
- ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など

接続しているサーバーの機種とその環境を可能な限りご記入ください。(例えば、NetWare 4.11J、WindowsNT Version 4.0 Server、FreeBSD 2.2.5 など)

#### お問い合わせ内容

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。

- 本カードと併用されているユーティリティや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。

- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。

- ご使用のOS がWindows95、Windows NTの場合、お手数ですが可能な限りシステムレポートをを出力し、添付下さるようお願いいたします。レポートの出力方法は、「C.2 システムレポートの出力方法」をご覧ください。

<b>接続の構成図</b>
---------------

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

### C.2 システムレポートの出力方法

システムレポートは、Windows95/NTが自動生成するシステムに関するレポート(名称はOSによって異なります)で、以下の手順で印刷することができます。

<b>Windows95 の場合</b>
(1) コントロールパネルから「システム」を起動し、「デバイスマネージャ」タブを表示します。
(2) 「印刷(N)...」ボタンをクリックします。
(3) 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

<b>Windows NT Ver.3.51 の場合</b>
(1) 「プログラムマネージャ」「管理ツール」と進み、

- 「Windows NT 診断プログラム」アイコンをダブルクリックして起動します。
- 「ファイル(F)メニューの「レポートの印刷(P)...」コマンドを選択します。
- 「レポートオプションの印刷」オプションでは「すべてレポートする(R)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

<b>Windows NT Ver.4.0 の場合</b>
(1) 「スタート」「プログラム」「管理ツール(共通)」「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。
(2) 「印刷(N)...」ボタンをクリックします。
(3) 「レポートの作成」が表示されます。各オプションについては、「範囲」は「すべてのタブ(A)」を、「詳細レベル」は「完全(M)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

<b>システムレポートの出力例(Windows95 の場合)</b>
<p>システムレポート - ページ：1</p> <p>..... システムの概要 .....</p> <p>Windows バージョン： 4.00.950  CPU の名前： 不明  CPU の種類： Pentium  システムの種類： ISA  BIOS 名： Phoenix  BIOS の日付： 01/08/97  BIOS のバージョン： Phoenix NoteBIOS Version 4.05  CPU の種類： IBM PC/AT  数値コピック： Not Present  登録オナー： X X X X X X  登録会社： X X X X X X</p> <p>..... IRQ の概要 .....</p> <p>IRQ の使用：  00 - システム  01 - 106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)  02 - プログラム可能な割り込みコントローラ  03 - 通信ポート (COM2)  04 - 通信ポート (COM1)  05 - ES1878 Plug and Play AutoDrive  06 - カンパード フロッピー ディスクコントローラ  07 - プリントポート (LPT1)  08 - システム CMOS/リアルタイムクロック  10 - Texas Instruments PCI-1130 CardBus Controller  10 - PCI カードが使用 IRQ 線が -</p>

<b>C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法</b>
-------------------------------

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーソフトウェアは、次の2つの方法で入手することができます。

<b>ホームページからの入手</b>
(1) Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザを使用して、アライドテレスイスのホームページ「http://www.allied-tesesis.co.jp」にアクセスします。
(2) 「DOWNLOAD」をクリックしてください。
(3) 以後、画面の指示にしたがってください。

<b>CD-ROM から入手</b>
CD-ROM のパッケージに添付されている「CD-ROM 取扱説明書」を参照してください。

<b>お問い合わせセンターから入手</b>
お問い合わせセンターへお問い合わせください。

## 調査依頼書( CentreCOM LA100-PCM-T V2 2/2 ) 年 月 日

### お問い合わせ内容

<b>ハードウェアとソフトウェア</b>
----------------------

<b>ご使用カードのシリアル番号、製品リビジョン</b>
 S/N _____ Rev _____

- ご使用の当社のソフトウェア

LA-PCM-T V2 ドライバー	Ver.	pl.	
CentreNET PC/TCP	Ver.	pl.	S/N
CentreNET AT-TCP/32	Ver.	pl.	S/N
その他( _____ )	Ver.	pl.	S/N
その他( _____ )	Ver.	pl.	S/N

- ご使用のコンピュータについて

メーカー名： _____	機種名： _____
OS: _____	バージョン： _____
	サービスパック(NT): _____

- ご使用の周辺機器について

CD-ROM ドライブ： _____
サウンドボード： _____
SCSI ボード： _____
その他： _____

- ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

- トラブルの発生時期

セットアップ中に起こっている障害
セットアップ後、運用中に起こっている障害

- システムレポート

添付あり
添付なし

<b>フロッピーディスクでの入手</b>
フロッピーディスクの「CD-ROM 取扱説明書」を参照してください。
_____
_____

<b>お問い合わせセンターから入手</b>
お問い合わせセンターへお問い合わせください。

<b>お問い合わせセンターから入手</b>
お問い合わせセンターへお問い合わせください。

- ご注意**
- 本マニュアルは、アライドテレスイス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレスイス(株)が保有しています。アライドテレスイス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
  - アライドテレスイス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
  - アライドテレスイス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
  - 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1998 アライドテレスイス株式会社
---------------------

<b>商標について</b>
CentreCOM、CentreNETはアライドテレスイス株式会社の登録商標です。Windows、WindowsNT、MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

<b>マニュアルバージョン</b>
1998年 05月 25日 Rev.A 初版